

# 大人への 門出を祝う



門出を祝い、市長らが紅白のもちを配った

新成人は

男性287人  
女性213人

大人への門出を祝う成人式が一月十五日、市内の結婚式場で行われました。

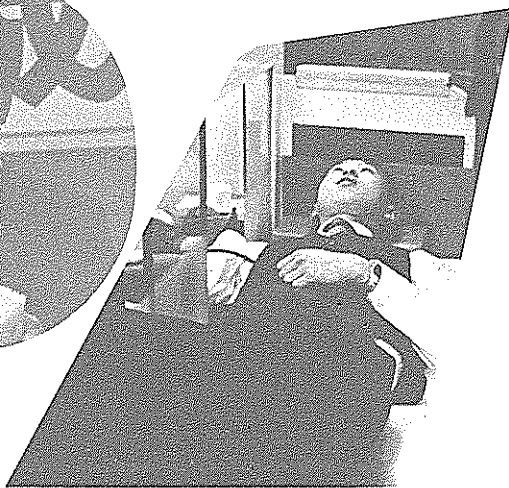
今年市内で成人式を迎えた人は、男性二百八十七人、女性二百十三人の合計五百人。うち、式典には二百九十五人が出席。

まず小笠原市長が「世界、日本そして郷土に関心を持ち、広い目で見つめ生きてほしい」とあいさつ。続いて市連合青年団長の吉井和幸さんが「明日の地域発展のために、共に頑張らしましょう」とメッセージを贈り、鈴江教育長が成

人の代表者一人に記念品を手渡しました。これに答え、池森敬さん(縮生)が「創造性を失わず、常に新たな気持ちで、すべてのことに努力していきます」と、二十歳の決意を述べました。



20歳の決意を述べる池森敬さん



決意新たに59人が献血に協力

続いて、高知女子大の植田ひとみ助教授が「二十代をどう生きるか―私らしさを求めて」と題して講演。最後は、青年団がつき上げた紅白の祝いもちを、市長らが出席者に配り門出を祝いました。

一方会場前では、県赤十字血液センターが「私たちの献血」を呼び掛け、和服の女性も含め五十九人が、献血に協力していました。

教育委員会から

成人式に出席できなかった方で、記念品(アルバム)を希望する方は、二月末日までに教育委員会社会教育課(☎211-11内線314)まで申し出てください。



295人が出席し華やかな雰囲気で行われた成人式典